

vol.44

アイアム

LOGO DESIGN by Aimi Kawagoe

I am 編集員！～私達の就職、私達の時代～

まる・さんかく・しかくインタビュー

LOOK&COOK ～見・聞・食のコーナー～

一致団結！



平成22年度「男女共同参画社会づくり」小・中学生図画・ポスターコンクール
中学生の部 福井市長賞 最優秀賞

I am 編集員!

～私達の就職、私達の時代～

今年度から新メンバーが加わったアイアム編集委員会。ちょっとその会議をのぞいてみました。

新メンバー

栗原 知子 (32才)
大学で教員をしています。建築が専門ですが、福祉施設や保育施設なども研究対象ですので、そんなことが何かお役にたてばと思っています。

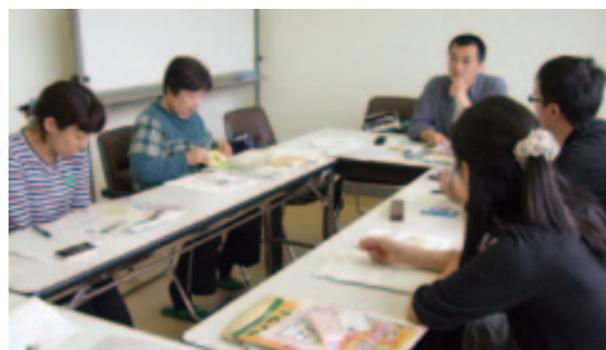
新メンバー

大橋 春美 (35才)
母親が集う場の提供や母親向け講座を開催している市民団体に所属していますので、子育て関係のことをやれたらと思っています。

児玉 定美 (48才)
自営業をしながらお店の一角に子ども文庫を開発しています。子どものために始めた人形劇や落語が、今ではすっかり趣味になっています。

廣瀬 静子 (61才)
今は主婦ですが、これまでの人生経験や県の冊子にかかわった経験も活かしたらよいと思います。

藤田 恭平 (24才)
学生だった前回とは違って今回は社会人の第一歩を踏み出しました。学校に勤めています。



児玉 さて、男女共同参画といってもかなり幅が広いですよ。今回からメンバーも替わったことですし、何をどんなふうに取り上げていきましょうか？

廣瀬 毎回全体で一つのテーマを決めて、それに対する色々な年代の考え方を探ってみるというのはどうでしょうか？

栗原 それ良いかも…。きっと、仕事や結婚、家庭に対する考え方って世代で大きく違うと思うし…。

大橋 子育て観もきっと大きく違いますよね。

藤田 今回は何でいきます？

廣瀬 仕事、結婚、子育て…と進んでいくのが順当かと思いますが…。

児玉 じゃあ今回は仕事における男女共同参画ということですね。

藤田 僕だと、就活かな。リアルタイムです(笑)

廣瀬 私は四年制大学に進学したかったけど親に反対されて、許してもらえなかったわ。2つ上の兄がいるから、短大にして早く就職して、早く嫁に行けって。

児玉 僕は今年49歳ですが、僕らの世代でも「女性が四年制大学出たら就職がない。短大にしとけ」という親が多かったですね。

廣瀬 そうです。私達のアラ還世代は明らかな差別がありましたね。女性の採用は高卒または短大卒のみ。私は銀行員でしたが、ほとんど窓口業務のみで結婚したら退職するのが慣例でした。

児玉 企業側に言わせると、3年ぐらい勤めてくれて初めて元が取れる。だから、大学を出た娘はすぐ結婚して辞めちゃうからダメだと。

廣瀬 就職してからの研修は女子だけにはお茶くみや机ふきまでありました。勤務中は指輪やイヤリング禁止、お化粧の仕方まで口出しされましたよ。職場の飲み会や旅行はセクハラすれすれの行為が当たり前でした。

大橋 女性の就職を「結婚までの腰掛」って考えてた聞いてますが？会社側も自社の社員のお嫁さん候補として採用してたとか？

栗原 そうそう。だから必ずお茶くみ。私の知り合いで大学で建築の勉強して建築会社に就職したのに入社してからの研修が「お茶くみと電話番号しかなかった」って。会社の規定だからって。結局結婚を機にご主人の仕事の関係でアメリカへ移住し、大学院を卒業。今は帰国して大学の先生をしています。

藤田 優秀な人なのに会社はもったいないことしてますよね。もっと人物本位にしてほしいな。今はエントリーシートとか出して、自分をアピールできないと難しいです。

将来の夢は何ですか？

40年前



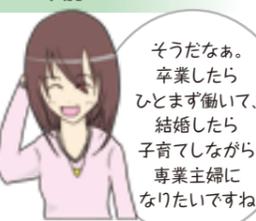
しょうらいのゆめは、およめさんになることです！

30年前



将来の夢？働きたいから専業主婦でしょ。やっぱ

25年前



そうだなあ。卒業したらひとまず働いて、結婚したら子育てしながら専業主婦になりたいですね

現在



離婚。

児玉 大橋さんはどんな仕事をされてましたか？

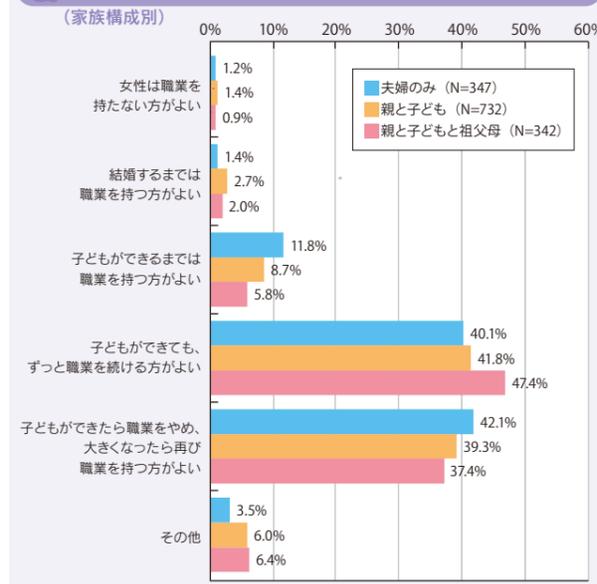
大橋 大学を卒業してから化学系と医療事務を経験しました。いずれもフルタイムの仕事だったので、待遇面で男女差は特に感じなかったです。でも、出産・育児を考えると核家族では男性の協力がなくて継続はキツイですね。出産後、専業主婦になったのもう何年も仕事してないから今度社会に出るときは不安もありますが、本当に自分のやりたいことをしたいですね。

児玉 藤田君は就活を通じて男女差別を感じたことはありませんか？

藤田 う〜ん。僕なんかは男女平等が当たり前の中で育ってきたから、就活してみても初めて、男女別々の枠で採用があることに気が付きました。やっぱり男と女は違うんだって…(笑)

栗原 大学で「北陸の女性・教育・家族」を調査した資料があるんですけど、福井は三世同居率が全国第2位。そして、結婚・出産してもあまり就業率が下がらない。聞き取り調査をすると、9割の人が仕事をしたいって答えていますね。

Q 女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか？



出典：「男女共同参画に関する福井市民意識アンケート調査」福井市（平成23年2月）

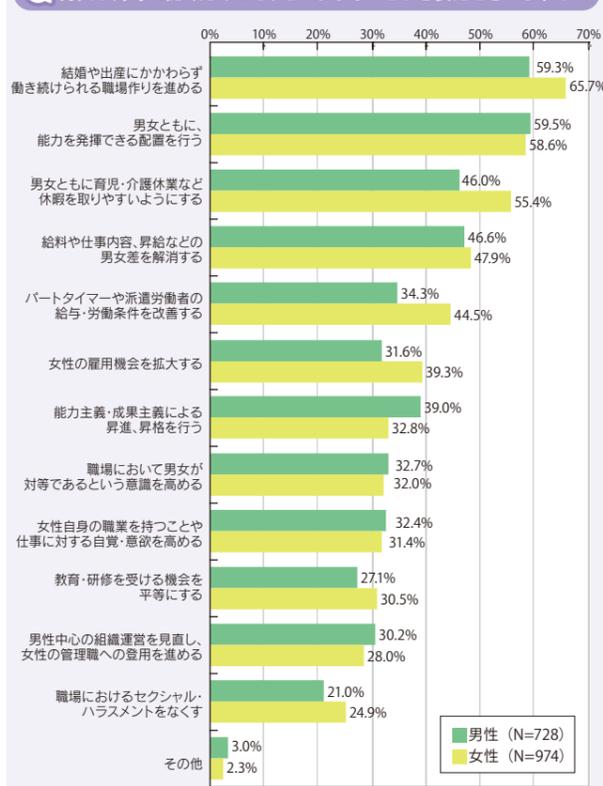
大橋 最近の調査では専業主婦願望の割合が増えてるらしいけど、実際なってみると、世間と隔絶した感じがして、何かせすにはいられなくなるんじゃないかな？

廣瀬 仕事をしないと福井では「遊んでる」って言われるしね。

栗原 福井の女性は頑張り屋が多いと言われる。仕事でも子育てでも何かしていることが美しいと。でも男女とも意外と就業時間は短いんです。だから一人ずつでみると低収入なんだそうですよ。

児玉 やはり、今のままでは出産・育児の時期があると管理職になっていくのは難しいですね。育児休暇がもう少し取り易くならないと。せつかく能力があるのにもったいないことになる。まあ、みんなが管理職になりたいと思ってるよりは限りませんが…。

Q 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか？



出典：「男女共同参画に関する福井市民意識アンケート調査」福井市（平成23年2月）

大橋 子どもと向き合う時間がほしいと思ってる人もいると思うし、仕事・家庭・地域のなかで自分がイキイキする生き方を選べると良いと思いますね。

藤田 僕も仕事だけで一日がおしまいっていうのはいやだな。趣味なんかで自分の世界を広げたいです。『男も女も自分らしく生きる』それが、男女共同参画ですよ。





結婚も子育てもしたい

中村 綾菜氏

今春の市議会議員選挙で初当選されました。福井市では二十代の女性市議は初だとか…。生い立ちのことや、仕事と結婚、政治を志した理由、今後の抱負などを伺いました。

—これまでのことをお話しください。

■政治への強い想いが立候補に

家族は父、母、祖母と弟がいます。両親は共働きで忙しく、家庭での祖母の協力は欠かせなかったです。私も中学のころから自分と弟のご飯は作ってました。父は消防士であり家に居なくて、しかも寡黙な人でしたが、地域のつながりを大切にすると、今思うと公共の意味を背中教えてくれたかな。母は「自由に生きなさい」とだけ言ってました。自分が一般事務員から30歳で一念発起して勉強して建築士の資格を取ったので、大学を出ることや、資格を取る事を望んでいたようです。そんな母の影響もあってか、大学在学中から簿記学校へも通って帰福してから会計事務所に勤めました。私のほかにも一人同期入社がいましたが、そちらはキャリアのある男性。自分だけが「お茶くみ」を指示されましたが、経験の差もあるし、特に反発は感じませんでしたね。その後、政治のセミナーに参加したり、西口再開発の勉強会や駅前活性化イベントなどを企画しているうちに、政治への思いが強くなって、県議秘書を経て、今回の立候補となりました。

—結婚についてはどうですか？

■結婚後も仕事が続けられる福井へ

もちろんしたいです。良縁があればねえ。出産も子育てもしたいです。でも、私「男っぽい」んですよね(笑)。仕事や、政治の話が大好きで、合コンなんか行って「政治の話」なんてしだすと男の人がザ～っと引いてくのがわかっちゃう(笑)。だから、学生のころは「私が仕事して専業主夫してくれる人いないかな？」なんて思ってた(笑)。でも、今は夫婦共同でやっていきたいと思ってますよ！

夫婦のありかたは自由に選べるのが理想。女性が結婚、出産、育児を経験しても希望すれば仕事を続けていける会社が福井でも伸びてきてほしい。私自身も議員でいながらそれらを経験して、みんなに「両立してやっていけるんだ！」と思ってもらえるようにしたいですね。



男女ともに仕事の仕方を選べる時代に

島川 由美子氏

三人の子育てがひと段落したところで、市議会議員に当選され現在二期目です。子どもさんはそれぞれ働いておられるので、その労働環境などもお伺いしました。

—生まれも、育ちも福井だそうですね？

■私のウチは、男女共同参画です

はい、福井市の足羽地区出身です。家族は共働きの両親と兄でしたが、特に「女だから～」と親から言われたことはなかったです。私達の時代は女性で大学に進むのはまだまだ少数でした。私もそれ程進学したい意思はなかったので、会計事務所に勤めました。所長が男性である他は女性の事務員が4～5人の事務所でしたから、ここでも「女だから」というような差別は感じませんでしたね。インテリアの会社に転職してからお見合いで結婚したのが29歳の時です。当時としては遅かった方ですから、親はヤキモキしたでしょうね(笑)。夫が敦賀で勤務していたので、そこで3人の子どもを産んで育てました。核家族なので夫も家事を手伝ってくれましたよ。今だって政治活動で忙しい時など、本当に助かってます。男女共同参画家族！でもイヤイヤかも？(笑)。15年ほど前に夫の祖母と両親が年老いたので、帰福して同居しました。以来、夫は敦賀へ通っています。成人した子どもたちは全員働いています。

—若い人の労働状況はどうでしょう？

大変厳しいですね。就活もむずかしいけれど、入社してからもですね。今は男女の差別がなくなったのはいいけれど、一方で女性も男性と同様に仕事に業績を求められる。男性だって女性だって、必ずしも全員がキャリアアップを望んでいるわけではないと思うのですがねえ。

—政治活動の目標をお聞かせください。

■支えあえる地域・社会を目指します

みなさんの希望を聞いて、国の政策で行き届かないところをフォローし、市民の皆さんの暮らしを守るために働いていくのが私達の仕事だと思っています。安全安心な見守り、支えあえる地域のコミュニティーを大切にする政治を目指していきたいです。

まるさんかくしかく インタビュー

世の中、円(まる)く、男女共同参画(さんかく)でいきたいけれど、まだまだ、自分たちの知らない死角(しかく)があるのかも？ 様々な方へのインタビュー企画1回目。今回は、政治の世界の女性たちにお話を伺いました。

—県外のご出身だそうですね？

岡山でサラリーマンの父と専業主婦の母に育てられました。別居していた祖父が「女らしく」なんて言ってましたが両親は特に言いませんでした。大阪で教員をしている時、夫と知り合いました。彼が福井へ来ていたのでその時に一緒に来て結婚しました。

—追いかけて来たのですか？

■娘が大好きな、夫の作ったハヤシライス

追いかけて来たのか、引っ張られて来たのか(笑)。娘が4歳、私が32歳の時初当選しました。親戚も誰もいなくて大変でしたが、周りの人に助けられました。よく近所の人や友達などに子守りをしてもらいましたから、みんなに育ててもらったんですね。出かける時泣いて追いかけてきて辛いこともありましたが、子育てしながら勉強して自分も成長したと思います。子どもが小さい時、夫とは毎朝お互いの予定を打ち合わせをしていました。私が忙しい時は家事全般をしてくれました。手の込んだ料理はしませんでした。夫の作ったハヤシライスが娘は大好きでした。そのことを私が婦人会の作文で書いたら二通

りの反応がありました。「すばらしい、感激した」と「そんなことまでご主人にやらせてるの？」とご家庭はそれぞれですね。娘は「寂しかったこともあった」と言ってましたが、成人してから「友達と話していて、自分の両親がいかに良いかわかった！」と言ってくれて報われた気持ちがしました。

—市政への想いを聞かせてください。

■少子化対策は、子育て環境と労働条件の改善で

政治家への原点は子育て環境の改善です。娘が小学生のとき有志で学童保育をやっていたのが、今の児童館へ繋がっています。でも、ほかのことを手掛けようとすると「女は福祉と子ども関係だけやっていればいい」とか「わからないくせに」などとよく言われました。視察旅行に行ったら宴会まであって「お酌しろ」なんて言われたこともありますね。そういう点は少しずつ良くなっていますが。子育て環境と労働条件の改善が少子化対策の両輪だと思いますので、これからもしっかりとやっていきたいと思っています。



活動の原点は子育て環境の改善
西村 公子氏

現在七期目のベテラン議員です。子どもを育てながらの活動で、しかもご夫婦二人とも県外の出身の核家族で、知り合いも親戚もなく様々な苦労があったと思われま。子育てしながら働くコツなどを伺いました。

—一年の離れた妹さんがいらっしやるのか？

■母は、40代で肩たたきに

ええ、そうです。小さい頃は一人っ子状態でしたね。父はワンマンで家の事は全くしない『典型的な昔の男』(笑)。でも一面では私に、「女でも働いて自立しなさい」と口癖のように言っていました。母は《凛》とした教員でしたが、40代で肩たたきに遭い、相当悩んだようです。退職後は自宅を塾を開いていましたが、その頃から私は男女の《決められた役割分担》に強く疑問を感じていたんですね。

—市役所時代はどのようでしたか？

■女性の“自立と社会参画”に駆けた50年

私が20～40代の頃は「男は仕事、女はお茶くみ」が当たり前。でも「女であっても市民の為の仕事をして何が悪い」と心の中で叫びながら、同僚や上司とケンカしつつも、仕事にはしっかりと向き合ってきましたね。こんな中、女性の想いや願いを届けるには、《自立と社会参

画》が必要だと痛感。これらを目標にした「勤労婦人センター」が昭和54年にオープンし、ここで学んだ女性たちが《男女共同参画福井づくり》を担うリーダーとして巣立っていきました。この時代、夫は「あなたは仕事の虫やな」って言ってました(笑)。途中で胃ガンを患いながらも克服して、50年を全力で走ってきた自分が懐かしく思い出されます。

—これからの人生は？

■市民と行政、ともに役割を担う時代に

子育ては母の協力があ、家事は夫の協力が大でしたね。料理は苦手だけど、後は何でもOK! 「ぬれ落ち葉」にも「ワシも行く族」にもならず(笑)、自立した豊かな老後を生きています。豊かな人生は『仕事も家庭も』の実践で、特に女性側から言えば『社会参画』、この実践こそが《男女共同参画》の目標です。男女双方にとっての不得意分野の相互乗り入れは、《男性にとっても幸せの鍵》だと思います。今後は《市民と行政が平等の立場で、役割を果たす》協働でのまちづくりが求められます。これからも多くの人々と一緒になって学習し、《想いを力に》をモットーとして団体活動をしていきたいと思っています。



みんなと一緒に、学習から実践へ

高田 訓子氏

福井市生まれで、市職員として四十二年、その間『勤労婦人センター館長』『男女共同参画室・少子化対策センター室長』を歴任され、退職後に市議会議員を8年間勤められました。議員引退後の今年度から『男女共同参画ネットワーク』の代表に就任されました。男女共同参画への熱い想いをお聞きました。

編集委員レポート

男女共同参画講演会

「共働きから子育てへ～ワーク・ライフ・バランスって何?～」

と き：6月26日(日)

と ころ：アオッサ6階 研修室 601

講 師：蟹瀬 誠一氏 (明治大学国際日本学部長・国際ジャーナリスト)

共 催：福井市・福井県金融広報委員会

講師は、石川県出身の蟹瀬誠一先生。記者の経験を活かし、現在はテレビキャスターとして、また近年では明治大学国際日本学部長としてご活躍されているだけあって、笑いを盛り込んだテンポの良い話し方は、1時間半の講演会を一瞬に感じさせるセンスあるものでした。

東日本大震災の話題を切り口に、「世の中で事実だと思っていることの多くは思い込みである。日々勉強。」というお話から、「男は仕事・女は家庭」が常識であった時代に、自らの行動力と探究心で新たな民族を発見し「男女の役割は生まれながらにして決まっているのではなく、社会や教育によって決まる」ことを提唱した文化人類学者マーガレット・ミードの言葉を通して、男女平等についてとてもわかりやすく話してくださいました。

また、ご自身の結婚・子育ての経験や海外での生活体験としては、親が子に与えることができるただ二つだけの事は、「ルーツ(生まれ育った日本を誇りに思う事)」と「ウィングス(自立できるような知恵と力をつけてやる事)」であり「育児=育自」、つまり、親が一方向的に子どもに何かを与えるのではなく共に育ちあう存在であることに気づかされた

ました。子育てにおける男女の役割についても、ご息が通われた保育園の園長の「共働きはやめて、子育てにしましょう」という言葉から、夫婦が互いの生き方を尊重し合うこと、時代は「共働き」だけでなく「子育て」という流れにあることを感じました。

しかし、終始一貫して主張されていたのは、「自分のやりたいことをやる。」という自分の気持ちに正直に生きる事についてでした。「仕事を続けること・辞めること」、「子どもを産むこと・産まないこと」など人生の岐路に立たされた時、私たちの「選択」それは「個人のプライベートな選択」であって、他人が決めることではない。」という言葉にハッとさせられました。

最後には再び、マーガレット・ミードの言葉を借り、「The Future is Now(未来とは今のこと)」、未来は勝手にやってくるのではなく、今の自分の行いの結果が未来になるというお話と、「ワーク・ライフ・バランス」というとバランスを考えることがとても難しく感じるがワークはライフの一部であるということ、これらを踏まえて今自分自身にとって何が大事かをしっかり考え、行動することの大切さについて学べた講演会でした。

男女共同参画講演会



就活に疲れた人にオススメDVD



DVD発売中 3,990円(税込)
アメリカ映画
主 演：スカーレット・ヨハンソン
発売元：ショウゲート
販売元：20世紀フォックス・ホーム・エンターテインメント・ジャパン

主人公のアニーは看護師の母親と二人暮らし。母親はアニーの学費を稼ぐ為に、夜勤などを多くこなして少しでも収入を増やす努力をしてきた。

そのおかげでアニーは大学を優秀な成績で卒業し、希望する金融機関に就職する為、連日リクルートスーツに身を固め、面接へ出かけて行く。ある会社の面接では自分と全く同じダークグレーのスーツの女性とばったり出くわすなど、日本もアメリカも同じだということがわかる。自由の国アメリカなので面接も個性的な服装で行くのかと思いきや、この就職難の社会では、見た目の第一印象も求められるようだ。アニーの友人はリクルートスーツのことを「社会の奴隷服」と称して、自分の個性を抑えてまで、企業に媚びることを皮肉っていている。

私がクマにキレた理由

そしてアニーはすべての面接に落ち、結局、偶然知り合った女性に「ナニー」として雇われる。ナニーとは子どもの教育係だが、アニーの場合、住み込みで雇われていたので、24時間働かされるハメになる。アニーという本名では呼んでもらえず、どこでも誰にでも「ナニー」と呼ばれ、子どものお守りから母親の買い物やパーティーの付き添いなど、家事すべての雑用係になり、アニーの日常は自分の自由時間すら持てないほどになる。

アニーはナニーとして住み込む同じマンションの住人男性と親しくなるが、それすら「身分が違う」と周りからイヤ味を言われる始末。昔の日本でも「身分違い」という言葉をよく聞いたがアメリカでもこんなことが言われていることに驚く。

ある日アニーはクマのぬいぐるみの中に、自分を監視するカメラが仕込んであることを知り、ついにキレてナニーをやめてしまう。

アニーの母親は看護師という資格を持ち、仕事も家事も子育てもこなしているのに、自分の将来はどうなってしまうのかアニーはあせり始める。

日本でも今、一流大学を出ても希望する職業に就けないなど、この映画に類似点がたくさんあり、考えさせられます。感動的なのは、ナニーをした経験を活かして、このあとはアニーが自分自身に妥協しないことです。「なりたい自分になる」ためにアニーの出した結論とは!? アニーと日本の若者達にも、エールを送りたくなる結末です。

忙しい毎日にちゃちゃっと一品

ほうれん草のみぞれあえ

- | | | |
|-------|--------|----|
| 材 料 | ●ほうれん草 | 1束 |
| (2人分) | ●しらす干し | 適宜 |
| | ●大根 | 適宜 |
| | ●だしつゆ | 適宜 |

- ほうれん草をさっと茹で、食べやすい大きさに切り、だしつゆで下味をつける。
- しらす干しに熱湯を回しかけ、塩分を抜く。
- 大根をすりおろし、軽く水気を切り、①・②と混ぜ合わせて、皿に盛る。



鮭のホイル焼き

- | | | | | |
|-------|------|-----|-------------|--------|
| 材 料 | ●鮭 | 1切れ | ●バター(マーガリン) | 小さじ1 |
| (1人分) | ●玉ねぎ | 適宜 | ●マヨネーズ | 大さじ1/2 |
| | ●えのき | 適宜 | ●塩・こしょう | 適宜 |
| | ●しめじ | 適宜 | | |

- 玉ねぎは薄切り、えのきは半分に、しめじは手でさく。
- アルミホイルにバターを薄く塗り、鮭を1切れのせる。鮭に塩・こしょうをし、玉ねぎ・えのき・しめじをのせ、残りのバター・マヨネーズをのせて、ホイルを閉じる。
- フライパンに②のをのせて水をはり蓋をして、10分程蒸し焼きにして出来上がり。



*マヨネーズの代わりに味噌とみりんを混ぜたものをのせて、和風に頂くこともできます。
*今回は彩りで絹さやをのせましたが、なくてもOK。蒸し焼きでなくても、オーブントースターや魚焼きグリルでも調理できます。時間は10~15分程度、様子を見ながら調理してくださいね。

はやおき亭貞九郎の落語「えっせー」

チャンチャカ
チャカチャカ
チャカチャカチャ
(「穂と殿様」の出囃子)

えっせーはらくのお付き合いで。落語で男女共同参画を考えようという企画でございませう。今回限りとならないように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いをいたします(笑)。私は男女共同参画落語を創作いたしました。このコーナーではあえて古典落語を取り上げてみたいと思っております。

さて今回取り上げる落語は「厩火事」。年上で稼ぎの良い働き者の女房とグウタラ亭主の喧嘩です。いわゆる「髪結いの亭主」というヤツ。女房のほうがり知合いのところで、夫婦喧嘩の相談に行き、「亭主がずっと自分と添い遂げてくれるつもりがあるか、本心を知りたい」と言うのと、「最近大事にしていない茶碗を、こころんだふりをして壊してみろ。そのときお前の身体を心配してくれるか、茶碗を心配するから本心がわかる」と知恵を授けられます。さて、亭主の反応はいかに…?

グウタラ亭主と言われちゃうのはトホホだけれど、ちょっと亭主の側から考えてみると、稼ぎで女房に負けているというのにはストレスになっていくのかも? これってやっぱり「男たるもの稼げなきゃ」の呪縛かな? そんなブライドで苦しんじやうのは僕の年代(アラ50)までだろう? 仕事は男女の別なく適性と能力がある人がすればよいし、そんな人が稼げるのは今も昔も当たり前。…と頭ではわかっているから「主夫だわいいいいいかな!」と割り切れればいいのだけれどね。でもやっぱり、揺れる男心(笑)。若い人はそんな感覚ないのかな? まあ、ともかく女房だけ働かせて自分には遊んで酒飲んでるってのはないよね。言葉もちっぽけとも優しくなくて、DVっぽいし。お互いに話し合って協力し、いたわりあってこそ夫婦でしょ!

それにしても、できる女房がグウタラ亭主の面倒を見てしまうなんて「母性本能」か、それとも「惚れた弱み」か? 貞九郎も惚れられてみたい!





下流の宴 林 真理子 著
 発行元：毎日新聞社
 発行日：2010/3/25
 価 格：1,680円 (税込)

一千万円という大金を目の前に「海外にも行きたくない。学校にも入りたくない。今のままですごく満足してるから。」と口にする主人公の息子・翔の発言をドラマで見た時、現代のいわゆる草食系男子の人生観・就職への意識に安然としてしまった。林真理子が身近に起きうる格差社会の現実を独特のキャラクター設定とテンポの

良さで描いた「下流の宴」は、どこにでもある一般家庭と隣り合わせにある下流社会の存在を実に上手く表現している。

ごく普通の一般家庭の主婦である由美子は、息子・翔にエリート人生を歩ませるべく、中高一貫校を受験させるも、肝心の翔は上昇志向もなく中退してしまう。二十歳になり漫画喫茶でフリーターとして働く翔は、由美子が最も嫌う「あっち(下流)側」の世界に足をつっこんでいるわけだ。物語は、そんな翔が、ひょんなことから同棲を始めた沖縄育ちの珠緒(こちらもフリーター)と結婚したいと言い出すところから始まる。大事な翔を渡したくない由美子。翔との結婚を認めさせるために二十二歳にして医大受験を決意する珠緒。翔とは対照的に要領良く生きる姉の可奈は、玉の輿を狙って派遣社員としてIT企業に勤めるが…それぞれの思いは叶うのか?!

女の本音を書かせたら天下一品、林真理子流現代社会での就職問題・若者の社会観の中で、「こんな発言する女性もいるよなあ」と笑いながらスラスラ読める一冊。ラストのオチも見もの!

「こんばんは」とお母さんと元気に出てきてくれた優葉さん。学校では吹奏楽部に、他に少年少女合唱団にも所属。「合唱は続けたい。絵は何度が賞をもらったことがある」というので、芸術家志望かと思いきや、将来はお店で販売の仕事をしたいとか。学校では家庭科も大好き。クッキングスクールにも通ってお菓子作りを習い、家ではお風呂やトイレ掃除をよくするそうです。



清水中学校 2年
木村 優葉さん

ご両親は共働きですが、元気で協力的な祖母のおかげでいつも賑やか。表紙の絵のように『一致団結!』して家事をこなしているのかと思いきや、「この子と、大学生のお兄ちゃんはマメで何でもするけど、お父さんとお嫁に行ったお姉ちゃんが何もしないわ。お父さん似ね(笑)」とお母さん。「でも、頼めば蛍光灯変えたりしてくれるかな? 最近のビックリはゴーヤで緑のカーテン作ってくれたこと」「そうだよな。あれはびっくりした」と二人で笑い合っ。やっぱり『一致団結!』の仲良いご家族でした。

パートナーからの**暴力ホットライン**

夫婦や恋人などからの**身体的暴力・精神的暴力・経済的暴力・社会的暴力・性的暴力・子どもを巻き添えにした暴力**に対し、下記機関があなたを支援します。

福井市男女共同参画・子ども家庭センター 相談室		福井市手寄1-4-1 (アオツサ5階)	0776-20-1541	水曜日～月曜日 <small>(休所日:毎週火曜日、12/29～1/3)</small>	9:00～18:00
支援者暴力被害者	福井県生活学習館 (ユウ・アイふくい)	福井市下六条町14-1	0776-41-7111 0776-41-7112	火曜日～日曜日 <small>(第3日曜日、国民の祝日の翌日を除く)</small>	9:00～16:45
	福井県総合福祉相談所 女性相談課	福井市光陽2-3-36	0776-24-6261	月曜日～金曜日 <small>土・日・祝日</small>	8:30～22:00 17:15～22:00
	福井健康福祉センター 福祉課	福井市西木田2-8-8	0776-36-2857	月曜日～金曜日 <small>(国民の祝日を除く)</small>	9:00～16:45
福井県警察本部 女性被害相談電話		福井市大手3-17-1	0120-29-2170 0776-29-2110	月曜日～金曜日 <small>(土・日・祝日は留守番電話)</small>	8:30～17:15
福井地方方法務局 女性の人権ホットライン		福井市春山1-1-54 (福井春山合同庁舎)	ゼロナナゼロのホットライン 0570-070-810 <small>(PHS, IP電話からはつながりません)</small>	月曜日～金曜日	8:30～17:15
福井県人権センター		福井市手寄1-4-1 (アオツサ7階)	0776-29-2111	火曜日～金曜日 <small>第2,4日曜日とその前日の土曜日 (国民の祝日を除く)</small>	9:00～17:00
公益社団法人 福井被害者支援センター		福井市文京2-13-5	0120-783-892 0776-88-0800	月曜日～土曜日 <small>(国民の祝日を除く)</small>	10:00～16:00
特定非営利活動法人 福井女性フォーラム		福井市光陽4-2-17	0776-63-5905	水曜日	19:00～21:00

DV相談ナビ (配偶者からの暴力被害者支援情報サイト)

内閣府 男女共同参画局

0570-0-55210

配偶者からの暴力(DV)に悩んでいる方へあなたのお近くの相談窓口をお答えします

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)があなたを守ります。

編集後記

今年度より2人の新メンバーが加わったアイアム編集。人生の岐路とも言える、就職(仕事)・結婚・子育て・地域について男女共同参画の観点から各号で取り上げていく予定です。

それぞれのテーマで、自分自身について振り返り、今をこれからを、それぞれのワーク・ライフ・バランスについて考えるきっかけになってもらえればと思います。

企画・編集/アイアム編集委員

- 粟原 知子 大橋 春美
- 児玉 定美 廣瀬 静子
- 藤田 恭平 (50音順)

※この情報紙をご希望の方は、男女共同参画・子ども家庭センターまでご連絡ください。